学校番号	3010

令和8年度　　工業　　科

教科	工業	科目	建築設計実習Ⅰ	単位数	4 単位	年次	1 年次
使用教科書	建築設計製図（実教 工705）						
副教材等	図説 建築資料集 改訂版（実教出版） 建築製図練習ノート（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

住宅設計に関する建築計画やその設計方法を学びます。木造住宅などの住宅設計に必要な図面の知識や見方、人間工学についても学びます。修得には原則、すべての課題の完成と提出を必須とします。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

二階建て木造住宅の設計に必要な知識や態度を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

住宅の計画に必要な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】

住宅の設計に必要とされる課題発見の視点と、建築分野全般に関する技術の向上を目指して自ら学び、建築業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	住宅設計に関する分野の基礎的・基本的な技術を身に付け、社会における建築の意義や役割を理解している。また、建築に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	住宅設計に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	住宅設計について関心を持ち、その技術の修得をめざし主体的に取組むとともに、創造的に学ぶ態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	住宅の計画・木構造	住宅図面の模写 プランニングの基礎 木構造について 軸組について	a.木構造の住宅設計に関するそれぞれの分野の基礎的・基本的な技術を身に付け、社会における建築の意義や役割を理解している。 b. 木構造の住宅設計に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。 住宅設計の基礎的・基本的な技術を身に付け、建築に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用し、活かせている。	学習状況の観察	課題作品の成果 復習テストの結果等	課題の進捗状況
2	住宅の計画	図面の読み方 階段の設計方法 住宅の各所要室 住宅計画実践 断面図の意味と天井高 床高について	a.住宅設計の基礎的・基本的な技術を身に付け、建築に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。 b.住宅設計の計画について理解し、表現方法を適切に判断し実践で活用することができる。 c.住宅設計に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	学習状況の観察	課題作品の成果 復習テストの結果等	課題の進捗状況
3	集合住宅の計画	集合住宅について 集合住宅の種類 集住の形態 世界の建築について	a.住宅設計に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。 b.住宅設計の基礎的・基本的な技術を身に付け、建築に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。 c.住宅設計について関心を持ち、その技術の修得をめざし主体的に取組むとともに、創造的に学ぶ態度を身に付けている。	学習状況の観察	課題作品の成果 復習テストの結果等	課題の進捗状況

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度